

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書

事業No. 事業の名称	No.79 子どもとPepperが学び合う未来の 教室事業	担当課	みらい安心課 保健こども課
事業の概要	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、保育所や学校は極力、他地域からの出入りを制限した活動としていることから、外部講師等を招聘した学習機会が減っているなかで、子どもたちの学習意欲を維持し、時代に相応しい新たな学習を実現するため、ソフトバンクグループが提供する人型ロボットPepperを1機導入する。 同機の備える幅広い教育への可能性を活用し、まちの将来を担う子どもたちの思考力や想像力、コミュニケーション力を育成する。		
緊急経済対策との関係	IV-3 リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	事業の始期 事業の終期	令和2年9月 令和3年3月
総事業費	3,163,048円	事例集番号	－
交付対象経費	3,150,000円	補助・単独	単独
事業の効果	多種多様なPepper用アプリを活用することで、場面や目的にあわせて稼働させることが出来ている。特に保育所での英語教育においては、既存のアプリに加え、度会町用に作成された英語教育用アプリを用いることで、ALTが不在であっても本格的な発音を聞き、遊びの中で英語を学ぶことができています。 Pepperに対する子供たちの反応は様々であるが、先端技術が使われたロボットと日常的に触れ合うことは、デジタル化が加速する社会で生きていくうえで貴重な経験となっている。		
事業の様子 (写真等)			
備考欄			